

花粉症研究費 ネットで募る

山梨大医学部・免疫学講座

インターネットを通じて資金を集めるクラウドファンディング(CF)を利用し、花粉症の研究費を募る。そんな取り組みを山梨大医学部の免疫学講座(中尾篤人教授)が始めた。必要な機材をそろえるとともに、研究について広く知ってもらうことをめざす。

山梨大の広報担当者によると、CFによる研究費集めは同大ではまだ珍しいという。

研究のタイトルは「『病は気から』は本当か?アレルギー界の大きな謎に挑む!」。

花粉症などのアレルギーは精神的なストレスで悪化するなど、心の状態が症状に影響することが知られている。だが、詳しい仕組みは分かっていない。

ネズミを使った実験で、積極的な行動を起こすとき

脳の中で活性化する場所を薬で刺激し、花粉症の症状がどう変わるかを調べる計画だ。

研究チーム代表の中嶋正太郎助教(32)は高校生の時から花粉症に悩まされ、テイスシュペーパーの箱を片手に通学していた。「精神的にも不安定な毎日でしたが、もっと前向きな気持ち



「私たちの研究について多くの人に知ってほしい」と話す中嶋正太郎助教(中央)市河東の山梨大

目標65万円 心とアレルギーの謎に挑む

で過ごせば症状も改善されたかもしれない。心とアレルギーの関係を科学的に解明したい」と意気込む。

目標は65万円。脳を観察する蛍光顕微鏡の購入費の一部に充てる。

寄付額に応じ、お礼も用意している。1千円で研究の進展を伝えるメール、5千円でオリジナルTシャツ、3万円で研究室見学ツアーの参加チケット、10万円で中尾教授によるアレルギーに関する食事付きプチ講義―など。

5日に募集を始めたところ、18日現在で17人から44万2千円が寄せられた。受け付けは8月5日まで。

中嶋さんは「多くの人から支援を受ければ、期待に応えようとモチベーションも上がる。目標額を達成して研究プロジェクトを実現したい」と話す。

寄付の応募は学術系のCFサイト「アカデミスト」(<https://academist.cf.com/>)で。研究の詳細い内容も紹介している。問い合わせは山梨大の免疫学講座(055・273・9542)へ。

(谷口哲雄)